

W I N G E S S A Y

DENTAL WING Co.,LTD

—2018年2月号—

☆間もなく立春を迎えます。気学から見ますと、この立春を境に、九紫火星の戌(つちのえ)戌年となります。九紫火星は、陰陽の分岐点とも言われ、九は陽数の極み、紫は最も高貴な色と言われ、最高の意味から天・頂上・全盛・頭などを象徴します。また火という星から光と熱を意味しており、今年は、特に火災に注意するように心掛けて下さい。過去の九紫火星年の主な出来事を挙げてみます。

昭和21年 日本国憲法公布。昭和30年 広辞苑初版発刊、トランジスタラジオ発売。昭和39年 東京オリンピック開催、新潟地震、ベトナム戦争勃発。昭和48年 円が相場変動制に移行、石油ショック。昭和57年 ホテルニュージャパン火災、羽田沖で日航機墜落事故。平成3年 バブル崩壊、ソビエト解体、湾岸戦争勃発、雲仙普賢岳噴火。平成12年 有珠山噴火、三宅島噴火、新2000円札発行、みずほ銀行誕生。平成21年 黒人として初めてオバマ米国大統領誕生、裁判員制度スタート。

こうやって見ますと、確かに分岐点の様相が伺えますし、火に関する大規模な自然災害や火災も見受けられます。今年は何のような1年になるのでしょうか、しっかり腰を据えて冷静沈着に歩みたいものです。

☆昭和23年長崎県生まれ。昭和46年大阪経済大学卒業後、阪村機械製作所に入社し海外勤務を経験。3年後の昭和49年に帰郷し家業に入り、昭和61年に会社を設立、平成11年に現在の社名に変更。

いまや2000億円突破の超優良地場企業です。♪フリーダイヤル0120-441-222～♪もうお解りですね。そう「ジャパネットたかた」の創業者で、現在はV・ファーレン長崎の社長、高田明氏です。

いまや、国を代表する経営者の一人となられました。低迷していたV・ファーレン長崎を僅か半年でJ1昇格へと導いたそのお人柄とは。氏の人なりを表す言葉が、愛読誌の中にありましたので、一部を紹介させていただきます。

*ビジネスもスポーツも教育も医療も政治も、何のために活動しているかと言えば、「人間の幸せ」に尽きるんです。

*ミッションさえぶれなければ、サッカーのことを知らなくても勉強すればいいわけですから、問題ありません。

*一つ言えるのは、やっぱり人の心が変わると不可能が可能になる。

*目標を持つことは大事ですが、人生あまり先のことを考えても仕方なくて、いまを生きるしかないんじゃないかなって思うんです。

*不易流行という言葉が遺しているように、不易の部分がミッションであって、流行の部分が目標や手段だと。

*一番はプロセスです。プロセスで力を抜いている人や組織は絶対に目標を達成できない。

*変化を作り出さないと企業は残らない。

*初心って普通は若い時だけの気持ちだと思うんですけど、50歳の初心、60、70、80、90、100歳の初心と、生きていけば初心はずっと変化しながら積みあがって行く。

*失ってはいけないものがあると思います。それは一体何かというと、人の痛みを感じる心。

*私は一生懸命やらなかったことを失敗だと思っているので、やってダメだったことは失敗じゃないんです。

いかがですか？ 私にとっては、本当に新年にふさわしい言葉に出会うことができました。

氏の今後の益々のご活躍と、更なる教示を戴きたいものです。氏の志のもと、Vファーレン長崎がJ1でも目覚ましい活躍をすることを祈りたいですし、何よりも皆様で熱い声援を送りましょう！

頑張れ Vファーレン長崎！